

地域で「まもる」力

自衛隊神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長…田尾雅弘3等海佐）は、7月11日（火）から始まった「令和5年度夏の交通事故防止運動」に合わせて、7月18日（火）・19日（水）の両日、神奈川県横須賀市内の交差点数か所において、小・中・高校生の登校時間に、学校の先生や警察、地域の方々などと共に交通誘導を実施した。

神奈川県では、「過労運転・無謀運転の防止」「高齢者と子どもとの交通事故防止」「自転車の交通事故防止」「二輪車の交通事故防止」の四つを今回の運動の重点としており、交通誘導では、歩行者の安全確保や自転車のヘルメット着用呼び掛け力を入れた。

登校する子供たちへ「おはようございます」と声を掛けると、「あ、自衛隊だ」という元気な声が返ってきた。交通誘導の実施は、この春に続いて2度目となり、制服を見ただけで自衛隊だということを理解してくれる子ども達が増えてきたことは活動の成果と言える。

横須賀地域事務所は、「自衛隊をもっと身近に感じていただけるよう、地域の方々との連携を大切にしたい。夏特有の解放感により交通事故が多発されることが懸念されることから、子供たちを「まもる」身近な組織の一つとして、今後活動も続けていきたい」としている。



武山駐屯地見学

自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 菅井 如良1陸尉）は、8月2日（水）及び8月3日（木）に募集対象者等に対する武山駐屯地見学を企画実施した。

駐屯地見学では、陸上自衛隊高等工科学校助教による心肺蘇生法と基本教練の展示・実習、第31普通科連隊では指揮通信車、野外炊事具、11/2t救急車及び軽装甲機動車（LAV）の展示・乗車、第117教育大隊では新隊員居室等の実際の生活場所の研修、航空自衛隊中部高射群第2高射隊ではペトリオットシステムの展示・説明が行われた。

両日とも晴天に恵まれ、炎天下での見学となったが、特に、普段の武山駐屯地見学では見ることができないペトリオットシステムの見学は盛況で、参加者が熱心に興味を持って時間ぎりぎりまで見学を楽しんでいる様子が見受けられ、募集対象者に対して自衛隊の魅力を実感できたと思う。

また、駐屯地見学の最後には、募集対象者の入隊・入校の不安を解消の一助とするため、駐屯地所在部隊の隊員との懇談を実施し、職業としての各自衛隊の認知向上を図った。

横浜中央募集案内所は、「自衛官の志願者獲得のため、今後も常日頃からの若い世代に対する広報の重要性を認識し、自衛隊を職業の選択肢の一つとして認知してもらうため、広報活動の更なる充実に尽力する」としている。

